食品ロス削減総合対策事業のうち フードバンク活動支援

【令和4年度予算額 90(19)百万円】

<対策のポイント>

食品ロス削減のみならず、生活困窮者支援の観点からも、その役割の重要性が高まっているフードバンクに対して、スタートアップ団体への支援に加え、フードバンクの運営基盤の強化、食品取扱量の拡大等の課題に対応するため、フードバンクにおける広域連携等の食品受入・提供能力の強化に向けた先進的な取組を支援します。

<事業目標>

平成12年度比で事業系食品□ス量を半減(273万トン[令和12年度まで])

く事業の内容>

1. フードバンク活動団体のスタートアップ支援

- ① 検討会や研修会開催、普及啓発、人材育成及び団体間の連携強化の取組を支援します。
- ② 生鮮食品等の取扱量の拡大に向けた取組を支援します。

【支援対象団体】

これまで農林水産省のフードバンク支援事業において、3回以上補助を受けたことのないフードバンク活動団体であって、下記のいずれかに該当するフードバンク活動団体

- ・ 令和4年4月1日においてフードバンク活動の開始から3年を経過していないフードバンク活動団体(新たにフードバンク活動を開始する団体を含む)
- ・ 青果物等生鮮食品の取扱量を拡大するフードバンク活動団体等
- 、※ 都道府県、市区町村、社会福祉協議会等も支援対象団体に含まれます

2. フードバンク活動団体の先進的取組支援

広域連携等、**先進的な取組**を行うフードバンクに対して、その取組に**必要な経費を支援**します。

<事業の流れ>



く事業イメージン

- スタートアップ団体での食品衛生に係る研修会・ 検討会の開催(スタートアップ支援)
- ・ 食品受入・提供能力の強化に向けた関係機関 との連携のための会議 (先進的取組支援)
- ・ 食品の取扱量拡大に向けた一時保管 用の倉庫や食品を運搬するための車両等 の賃借

(スタートアップ支援、先進的取組支援)





<先進的な取組の例>

① 広域的な連携

県域を跨いで、多くの企業から食品を受入れ、多くの施設等へ提供

② プラットフォームの構築

企業から寄附の相談を一括して受け付け、各地のフードバンクの中から 適した提供先を調整

③ マッチングに特化した活動

食品の受入れ・保管を自らは行わず、食品の寄附を行う食品企業と、 食料支援を求める子ども食堂等とのマッチング

④ 企業・行政とのコーディネート

企業や地方自治体とフードバンクとの連携強化により、継続的な食品受入れや、食料支援を必要とする者を適切に把握

⑤ 農業者との連携

生産者団体と連携して、生産段階で発生する規格外の農産物等を受入れ

[お問い合わせ先] 大臣官房新事業・食品産業部外食・食文化課(03-6744-2066)